

ドキュメント情報の蓄積・検索・参照に パーソナルコンピュータを活用したいとお考えの皆様へ!

インフォスコープは**簡単で使いやすい**パーソナル情報ツールです。

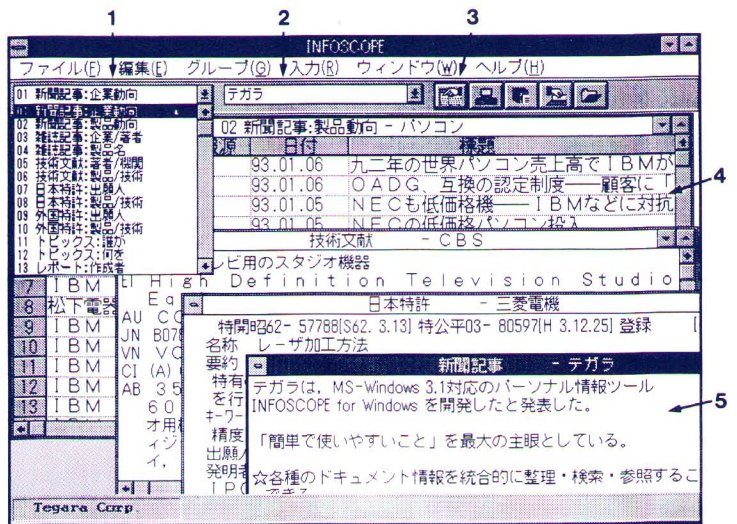
- 「新聞記事」「雑誌記事」「技術文献」「レポート」などの情報ソース名と、「企業動向」「製品動向」「著者名」「主題」といったカテゴリー名とを設定(ユーザー・カスタマイズ)していただくだけで、その日からすぐに役立つ複合ドキュメント情報システムができます。情報ソース名は、それぞれの情報ニーズに応じて最大7種類まで設定できます。
- 新聞記事、雑誌記事、文献資料、特許公報、報告書、議事録、実験メモなど、あらゆる種類のドキュメント情報(叙述的な情報)を統合的に蓄積、検索、参照することができる情報整理(秩序立て)のツールです。
- MS-Windows 3.1 対応のアプリケーションです。画面に表示されるメニューやボタンをマウスでクリックする操作ですばやく簡単に必要な情報を呼び出すことができます。

レコード検索・参照は次のような流れになります：

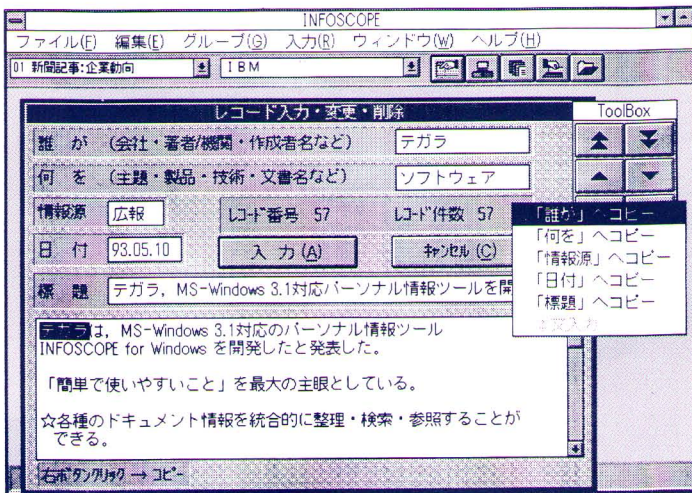
1. 情報ソース/カテゴリー名をメニューから選択する。
2. 検索キーをメニューから選択する。
3. 検索・参照ボタンをクリックする。
4. 標題リストウィンドウがオープンする。
5. リストの行の部分をダブルクリックし参照したい文書の本文ウィンドウをオープンする。

一度に複数のウィンドウをオープンして表示するマルチ・ドキュメント・インタフェイスです。リストや文書をデスクの上に広げられるようにして参照できます。

メニューやリストに表示される検索キー、標題をブラウジング(ざっと一覽)して必要な情報を選択します。内容がブラックボックス化されていないオープンな情報システムです。



←レコード入力画面



入力項目は、必要最少限の6項目(誰が、何を、情報源、日付、標題、本文)に絞られています。このうち「誰が」と「何を」が検索キーとなります。

入力項目を単純化したことと画面のカット・アンド・ペースト(切り貼り)で入力する機能により情報システムを運用していく上で最大の問題となるレコードの入力やメンテナンスを、短時間で手間いらずに行うことができます。

MS-Windows のマルチタスクとクリップボード機能により、エディタやワープロ、通信ソフトなど他のアプリケーションとのデータのやり取りが簡単にできます。インフォスコープのデータを利用してレポートを作成するといった場合、連続的に作業を行うことができるため、思考の中断がありません。

標題リストウィンドウ、本文ウィンドウの内容を直接プリンタに出力することもできます。

動作環境

- ☆ハードウェア：80386以上のCPUを搭載しMS-Windows 3.1がスタンダードモードまたはエンハンスドモードで動作するパーソナルコンピュータ。800*600ドット以上のディスプレイ。マウス。
- ☆ソフトウェア：MS-DOS 3.3x以降(PC-9800シリーズ)、MS-DOS 5.0/V以降(DOS/Vマシン)およびMS-Windows 3.1。

Microsoftは、米国マイクロソフト社の登録商標です。Windowsは、米国マイクロソフト社の商標です。INFOSCOPEは、テガラ社の商標(登録出願中)です。製品仕様は予告なく変更される場合があります。

開 発

標準価格 **50,000円**(税別)

テ ガ ラ 有限会社

〒430 静岡県浜松市砂山町 132-5E
Tel:053.458.5674 Fax:053.458.7581